



北海道ファミリーハウス  
—NPO法人—  
**北海道ファミリーハウス通信**

2018年11月9日発行/No.21  
発行:NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者:事務局長 大西 可奈  
060-0807札幌市北区北7条西6丁目  
TEL (011)716-4161 FAX (011)716-4162



▲総会の様子

# 第十一回 通常総会ひらく

五月二十六日(土)

ることになりました。これからは患者さんや家族にとつて金銭的な負担の軽減や不慣れた土地での治療という精神的な負担の軽減のお役に立つよう運動を進めて参ります。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■第十回通常総会

五月二十六日(土)に「第十一回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一七年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どおり承認されました。

引き続き、二〇一八年度の事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

なお、今回の総会では、NPO法の一部改正に伴い、定款の一部(貸借対照表の公告方法変更)を改正しました。

## 一・特定非営利活動に関わる事業

### (一) 援助および支援活動

- ①入院治療を受けている子どもたちの笑顔づくりの活動として、病院内で劇団風の子による演劇「どさんこぴーひやらあそび組」を上

演し、子どもと家族を招待しました。またクリスマス会にはツリー用木製オーナメントをプレゼントしました。



### (二) 道民に理解を求める広報活動

- あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。
- ①ホームページやガイドブックを活用し、活動内容と施設情報を提供しました。
- ②パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。
- ③PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。
- ④「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部×二回)し、

活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取り組みをしました。

平成29年度  
ファミリーハウス利用実績

ホテル利用: 3,731日  
オーナー物件: 395日  
(H29.4.1~H30.3.31)

(決算は裏面に)

会員口数 (H30.3.31現在)	正会員: 21口	賛助会員: 2,098口	法人会員: 4口
-------------------	----------	--------------	----------

2017年度  
助成金・ご寄付

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■助成金 (敬称略)

札幌信用金庫社会福祉基金 : 五〇、〇〇〇円  
赤い羽根共同募金会 : 七五、〇〇〇円

■ご寄付  
個人 (片山ナツ様)  
.....二、〇〇〇円

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで (単位：円)

科目	金額	備考
I.収入の部		
1.会費収入	80,000	個人・法人
2.賛助金収入	2,130,000	個人・法人
3.助成金収入	100,000	
4.寄付金収入	0	
5.事業収入	0	
6.雑収入	0	
当期収入合計 (A)	2,310,000	
II.支出の部		
1.事業費	1,505,000	
(1) 援助及び支援活動	1,035,000	交通費、行事費、そらぶち支援・交流
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	300,000	ガイドブック見直し、未就学児利用料補助
(3) 道民に理解を求める広報	170,000	FH通信、ホームページ管理
2.管理費	805,000	
当期支出合計 (B)	2,310,000	
当期収支差額 (A) - (B)	0	

その他事業 なし

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支決算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位：円)

科目	金額	備考
I.収入の部		
1.会費収入	68,000	個人・法人
2.賛助金収入	2,158,000	個人・法人
3.助成金収入	125,000	北海道信金様・共同募金会様
4.寄付金収入	2,000	個人
5.事業収入	0	
6.雑収入	103,657	利息
当期収入合計 (A)	2,456,657	
II.支出の部		
1.事業費	1,366,480	
(1) 援助及び支援活動	939,318	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	297,412	ガイドブック、ホテルパンフ印刷
(3) 道民に理解を求める広報	129,750	FHパンフ、FH通信
2.管理費	574,158	
当期支出合計 (B)	1,940,638	
当期収支差額 (A) - (B)	516,019	次期繰越額

その他事業 なし

二〇一八年度  
事業・活動計画

一、事業実施の方針

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行なっていきます。

二、特定非営利活動に係る事業

(一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を支援するために、病院の隣接地区にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせて円滑な利用が図れるよう活動を行なっていきます。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

○治療に専念する子どもたちの希望につながる活動として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援します。

(二) ファミリーハウスの設置及び運営

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化していきます。また、道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

(三) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。



ファミリーハウス運動は、施設のオーナーさま、ホテルの社会貢献など多くのボランティアに支えられています。

二〇一八年度  
第一回理事会を開催

第一回理事会を開催し、左記のとおり選任しました。また、ファミリーハウス運営検討委員会を設置し、委員を選出しました。

2018年度  
役員



理事長  
南谷 晴之

- 理事長 南谷 晴之 (再任)
- 副理事長 神戸 智子 (再任)
- 理事 大西 可奈 (再任)
- 理事 島山 茂房 (再任)
- 理事 加藤 弦 (再任)
- 理事 塩谷 えり子 (再任)
- 理事 新山 久美 (再任)
- 理事 小林 敬 (再任)
- 理事 川原 直行 (再任)
- 理事 松澤 優樹 (再任)
- 理事 高橋 誠 (再任)
- 理事 長崎 剛介 (新任)
- 理事 中村 真一 (再任)
- 理事 金田 耕二 (新任)
- 監事
- 顧問

そらぶちキッズキャンプ  
(公益財団法人)

<http://www.solaputi.jp/>

病気とたたかう子どもたちのための自然体験施設実現に向けたプロジェクト。日本ではじめて医療施設を完備し特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設けた夢のキャンプです。自然の中で病気のことを忘れ、笑顔で楽しいひとときを過ごせる場所を提供することを目的としています。